



**期間** 令和6年8月5日(月)～令和6年9月9日(月) [全5回]

**実施場所** 九州国際大学地域連携センター(サテライトキャンパス)  
〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3コムシティ2階 (28ページアクセス参照)

**申込・問合せ先** 九州国際大学地域連携センター  
〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3  
TEL:631-2203 FAX:631-2204

**時間** 18:00～20:00

応募締切

7月22日(月)

スマートフォンからも  
お申込みできます▶



**定員** 30名

**受講料** 4,000円

受講生への  
メッセージ

実施機関：九州国際大学地域連携センター

令和6年能登半島地震の被害に遭われた皆さまへ心からお見舞いを申し上げます。

さて、昨今のわが国では災害規模がより大型化し、その発生頻度も高まっています。これに伴って地域の自発的な防災対応である「共助」の必要性が、以前にも増して言われるようになりました。

本講座では、地域住民こそが防災の主体であることを前提に、DIG(災害図上演習)などの実践を交えつつ、地域の防災マネジメントについて考えます。

回数	月日	テーマ・内容	担当講師
1	8/5 (月)	<b>北九州市の防災の現状</b> まず最近の国内における災害発生とその被害の状況を概観します。その後、北九州市の防災対応の現状を、座学的に細かく見ていきましょう。	九州国際大学 現代ビジネス学部 教授 <b>村上 真理</b>  広島県出身。 広島大学大学院マネジメント専攻修了。 マネジメント博士。 専門分野はマーケティング論・経営戦略論・ビジネスリーダーシップ論。 講義の傍ら、学内では「地域防災リーダー育成プロジェクト」の顧問を務めている。
2	8/19 (月)	<b>DIGの実践</b> DIGとは災害図上演習のことです。ここではふだんの防災意識をセルフ・チェックした後、自宅や自宅周辺を対象にしたDIGを作業として行います。	
3	8/26 (月)	<b>HUGの実践</b> HUGとは避難所運営ゲームのことです。災害時、最寄の避難所の運営をお手伝いするという想定のもと、避難者のさまざまな立場や要望について考えます。	
4	9/2 (月)	<b>特殊な防災対応の検討</b> 在宅避難やマンション防災、被災体験の語り部活動、災害弱者への対応……。ここでは個別のテーマに従い、受講者全員でディスカッションしたいと思います。	
5	9/9 (月)	<b>地域コミュニティの役割</b> どのような災害も広範囲に影響することを思えば、対応を地域単位で進めるのは当然のことです。講座の最終回では地域の防災ニーズを幅広くに検討します。	

スポット受講  
詳細は2ページ

料金  
1,000円/回  
1回限り